

～市民と農業者をつなぐ
武蔵野市農業委員会だより～

むさし



第12号 平成31年4月
編集・発行 武蔵野市農業委員会
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
Tel 0422-60-1833 (直通)
Fax 0422-51-9408 (直通)

農業をとりまく制度改正について



昨年（平成30年）は、特定生産緑地制度の新設や都市農地の貸借円滑化に関する法律の施行、農作物栽培高度化施設（コンクリート農地等）の制度改正など、都市農業に深く関わる法制度の相次ぐ改正等への対応に追われた1年でした。

生産緑地の指定から30年を経過すると、いつでも生産緑地の買取請求が可能となります。平成4年（1992）の生産緑地法改正により生産緑地の指定を受けた農地所有者が、30年を迎える2022年に一齐に買取請求が行われた場合は、都市環境・地価等への大きな影響が懸念されています。いわゆる2022年問題です。

この問題に対応するため、特定生産緑地制度が新設され、農業者が安心して営農できる条件が整いました。農業委員会では市、JAと3者共催で制度の説明会を実施し、100%の参加をいただきました。説明会当日実施したアンケートでは、9割を超える方が特定生産緑地指定の意向を示されており、武蔵野市においては2022年問題の影響は少ないと考えております。

農業者の高齢化や後継者不足など、都市農業を取りまく課題は山積しておりますが、市民のみなさまに新鮮で安全安心な農作物をお届けできるように引き続き農業者一丸となり、努力してまいります。



特定生産緑地制度等説明会
(西部コミュニティセンター)

武蔵野市農業委員会 会長

榎本一宏

農業委員会の業務 ～関係機関との意見交換～

農業委員会等に関する法律第6条において、農業委員の活動は大きく分けて以下の5つに大別されます。

- ①法令業務 ②農地等の利用の最適化の推進 ③農業経営の合理化や法人化の推進
- ④調査活動 ⑤情報活動

そのうちの⑤情報活動の一例として、関係機関との意見交換を紹介します。



JA東京むさし武蔵野地区青壮年部との意見交換会
学校給食への市内産農産物の使用割合向上や農業委員の活動などについて、意見交換を行いました。



市議会総務委員との意見交換会
農地保全の具体的手法の提案や特定生産緑地制度など新たな法制度改正への対応状況等について、意見交換を行いました。



第70回農産物品評会

平成30年11月10日、11日に農産物品評会が行われました。栽培技術の向上・武蔵野農業のPRを目的に今回で70回目という節目を迎えました。8月の災害級の暑さ、収穫期前の台風直撃等が重なり、農作物の厳しい肥培管理が求められましたが、例年並みの537点が出品されました。最優秀賞を受賞されたのは表の方々となります。審査委員長の櫻井東京都農業振興事務所長からは、武蔵野市の野菜の第一印象は「きれい」。一言で言うなら「センスが光る」という講評をいただきました。



▲審査の様子



▲一般観覧中の会場の様子



▲直売は大盛況



▲都知事賞の青首大根

受賞品目	最優秀受賞者
青首大根・かんしょ	櫻井 敏史 (関前)
ブロッコリー・青首大根	田中 恒男 (吉祥寺)
にんじん	後藤 直久 (境)
ほうれんそう・うど	後藤 正昭 (境)
ばれいしょ	中村 孝史 (関前)
切花 (ストック)	名古屋 和宏 (関前)
みかん類	高橋 宏通 (境)
なす・かき	高橋 政孝 (境)
聖護院大根・ばれいしょ	大坂 新一 (関前)
かぶ	榎本 一宏 (関前)
さといも	榎本 清一 (関前)
キウイフルーツ	高橋 一男 (境)
にんじん	高橋 清次 (境)
キャベツ	田中 武徳 (吉祥寺)
さといも	吉野 政男 (境南町)

(敬称略)

農業委員会行政視察

武蔵野市と同じく都市部に位置する、杉並区の成田西農業公園で区民向け体験農園を、江戸川区の小松菜のほ場では小松菜のブランド化や小松菜を活かした六次産業化を視察しました。

※六次産業化とは農産物の生産から加工・流通・販売を行うことを指し、農業の一次産業、加工の二次産業、流通・販売の三次産業をかけて六次産業と呼ばれています。



▲江戸川区の小松菜ほ場の様子

小松菜で有名な江戸川区。ブランド化により、デパート等の単価の高い流通を確立し、安定した農業収入を確保しています。同時に区内学校給食への出荷も盛んであり、生産者の高い意欲が印象的でした。

武蔵野市東京うど品評会

武蔵野市は軟化うど発祥の地です。春から群馬県の高冷地で育ったうどの根株は、11月に掘り上げて、市内の農家のうど室(光を遮る穴蔵)で温度・湿度・遮蔽等を慎重に管理しながら育てます。品評会(2月15日開催)には、伝統の技で太く真っ白に育てられたうどが出品されました。

お買い求めのご相談はJA新鮮館まで

☎0422-54-7150



▲最優秀賞のうど

最優秀受賞	後藤 正昭(境)
優秀賞	田中 政伯(吉祥寺)
優秀賞	田中 武徳(吉祥寺)
優秀賞	高橋 宏通(境)
優秀賞	田中 裕志(吉祥寺)
優秀賞	田中 恒男(吉祥寺)
優良賞	後藤 正昭(境)
努力賞	田中 武徳(吉祥寺)

(敬称略)

うどは山菜のイメージがありますが、アク抜きいらずで、そのまま食べられます。早春の香りを味わってください。

フレッシュサラダ作戦

市内産の朝採り新鮮野菜を安価で提供する「フレッシュサラダ作戦」が、市内の東部（東急吉祥寺店）・中央（武蔵野市役所）・西部（境南ふれあい広場公園）で実施されました。天候にも恵まれ、どこも盛況で短時間での完売となりました。



▼11月23日
秋野菜がずらり
吉祥寺 東急前



▲12月1日
武蔵境 武蔵野プレイス前

第60回東京都農業委員会・農業者大会開催

“農地は輝く未来の宝「活かそう」「守ろう」「役立てよう」”のスローガンで、2月22日に昭島市民会館にて開催されました。この大会及び平成30年度に他の団体より受賞された方もあわせてご紹介いたします。

第58回企業的農業経営の顕彰	榎本 功（関前）
第38回農業後継者の顕彰	坂本 涼平（関前）
第45回農業委員会功労者表彰	高橋 健一（吉祥寺）
平成30年度新規就農者奨励賞 （公益財団法人東京都農林水産振興財団）	清水 俊幸（吉祥寺） 榎本 一史（関前）
北多摩地区優秀農業者表彰 （北多摩地区農業委員会連合会）	高橋 栄治（吉祥寺）
第52回農業功労表彰 緑綬功労者 （一般財団法人 内田農業振興会）	榎本 正孝（西久保）
東京都農業会議会長感謝状	西川 和延（事務局長）

（敬称略）

農家見学会

11月17日に市内3軒の生産者の畑の見学会を実施しました。生産の現場を直に感じることができ、様々な発見があったという感想が寄せられました。新鮮な野菜のお土産もあります。

都市化が進む
市内に様々な畑が
あることに驚きました。
大きな聖護院大根にも
びっくり!

境南町 吉野晃弘さんの畑



生産者の話を聞く参加者
農地が保全されることで、都市の中で癒しの空間が維持されています。

関前 井口義一さんの畑



管理の行き届いた畑に見入る参加者
定規を引いたように整然とする畑の美しさに驚きの声が上がっていました。

吉祥寺 田中茂雄さんの畑



収穫を楽しむ参加者

うど生産の歴史について語る田中さん（左手前）
現在もうど栽培を続けており、うど室も見学させていただきました。

関係団体の活動

3団体が市長と議長に対し、都市農業を継続するための要望を提出しました。



- ・武蔵野市都市農政推進協議会
- ・JA東京むさし武蔵野地区資産管理部会
- ・JA東京むさし武蔵野地区青壮年部

直売所マップを改訂しました ～いつでも新鮮な市内産農産物が買えます～



市内39カ所の直売所をまとめたマップが改訂されました。フレッシュサラダ作戦で買い逃してしまった方もご安心ください。

googleマップと連動してナビもできます。マップ片手に朝採りの新鮮な農産物をお買い求めになってはいかがでしょうか。

市役所・JA武蔵野支店等で配布中。

市のホームページにて
PDF版を公開しています

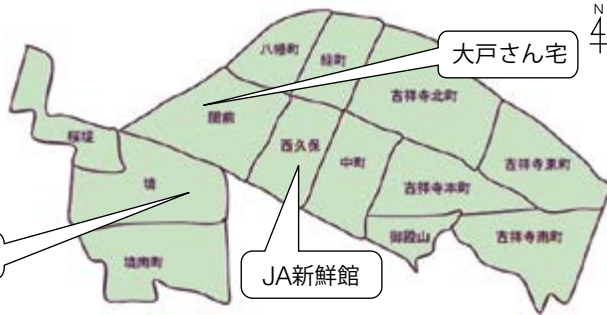


「新鮮で安全・安心な野菜はすぐそばに」 生産者の笑顔



武蔵野市内で活躍する農家の方々をご紹介します。

実(みのり)さん



豊(ゆたか)さん

高橋 元久さん (境1丁目在住)



左より 億吉さん 元久さん

元久さんは「境の高橋家」の分家の四代目として農業を営んでいます。父・沖右衛門さんが戦地から戻られて農業・銭湯(元の湯)等に専念するようになると、長男の元久さんは沖右衛門さんと戦後の食糧難の時代に野菜づくりに励み、昭和30年代にはアンディープ等の珍しい西洋野菜も栽培し、地元の皆さんにもとても喜ばれていました。

五代目の億吉さんは大学を卒業後、会社勤めの後に30歳を過ぎた頃に、確かな実りがある農業の魅力を感じ就農。現在は境東部地区支部長として都市農業をとりまく情勢の変化に対処して、農業振興と地域の農地保全にも取り組んでいます。収穫期や学校給食への納入が忙しい時には奥様も畑に出て仕事を手伝ってくださり、その内助の功には億吉さんも大変感謝されているとおっしゃっていました。

大戸 正勝さん (関前4丁目在住)



大戸家は古くから続く農家です。正勝さんは、30年前に会社勤めを辞めて就農しました。苗木の栽培を経験され、平成8年から現在の主力商品の銀杏の栽培に取り組みられています。大戸さんが作る銀杏は武蔵野市はもちろん、東京都の品評会で幾度も最優秀賞を受賞しています。モットーは「品質第一」。出荷前の選別はもちろん、JA新鮮館等に出荷してからお客様の手に届くまでの鮮度にこだわっています。

大戸さん自ら考案した銀杏レシピを同封して出荷、銀杏消費の裾野を広げています。それにより、吉祥寺や三鷹の料理屋からも引合いがきて、「大戸銀杏」というメニューが登場するほどです。

「大戸銀杏」は、イチヨウの葉が黄色に染まる頃、大戸さんの庭先に並びます。

※大戸さんは、昭和56年に本市初となる市民農園設置のため、畑を提供してくださいました。

果樹園に行こう

7月中旬から9月上旬にかけて市内の果樹園で摘み取りを行っています。

営業日・営業時間や料金体系は各直売所にお問い合わせください。



直売所の名称	販売品目	営業期間	所在地
パープルファーム武蔵野	ブルーベリー	7月中旬～8月中旬	関前2-1 (52-1440)
Kenchan Farm	ブルーベリー	7月中旬～9月上旬	関前3-12 (52-0129)
高橋ベリー園	ブルーベリー	6月中旬～8月中旬	境5-10 (51-4608)
竹内果樹園	ぶどう	8月中旬	境南町2-19 (31-9750)
	梨	8月下旬～9月上旬	
船木ぶどう園	ぶどう	8月上旬～9月上旬	境南町2-28 (32-3570)

イベントカレンダー

(31年度上半期)

イベント名	時期	場所
栽培講習会 (平成31年度市民農園使用開始者初級講習会)	4月6日(土) 講師: 福田 俊氏 (東京農業大学エクステンションセンター講師)	武蔵野市役所 西棟811会議室
ほおずき市・野菜の即売会	6月中旬から 7月上旬の月曜日	武蔵野市役所 正面玄関前
夏野菜品評会 立毛審査	6月26日(木)	市内ほ場
夏野菜品評会 展示と試食会	7月1日(月)	武蔵野市役所1階ロビー 及び正面玄関前

編集後記

編集委員のメンバーが新しくなりました!

新編集委員一同、引き続き「農」に関するイベントや生産者の紹介等の情報提供をはじめ、市民と農業者をつなぐ情報発信に努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。第12号発刊に当たり、関係各位にご協力いただけましたことを感謝申し上げます。

後列左より 桑津昇太郎委員・田中恒男前編集長・船木忠秋委員・齋藤久枝委員
前列左より 櫻井真二郎編集長・田邊安輝子副編集長

